

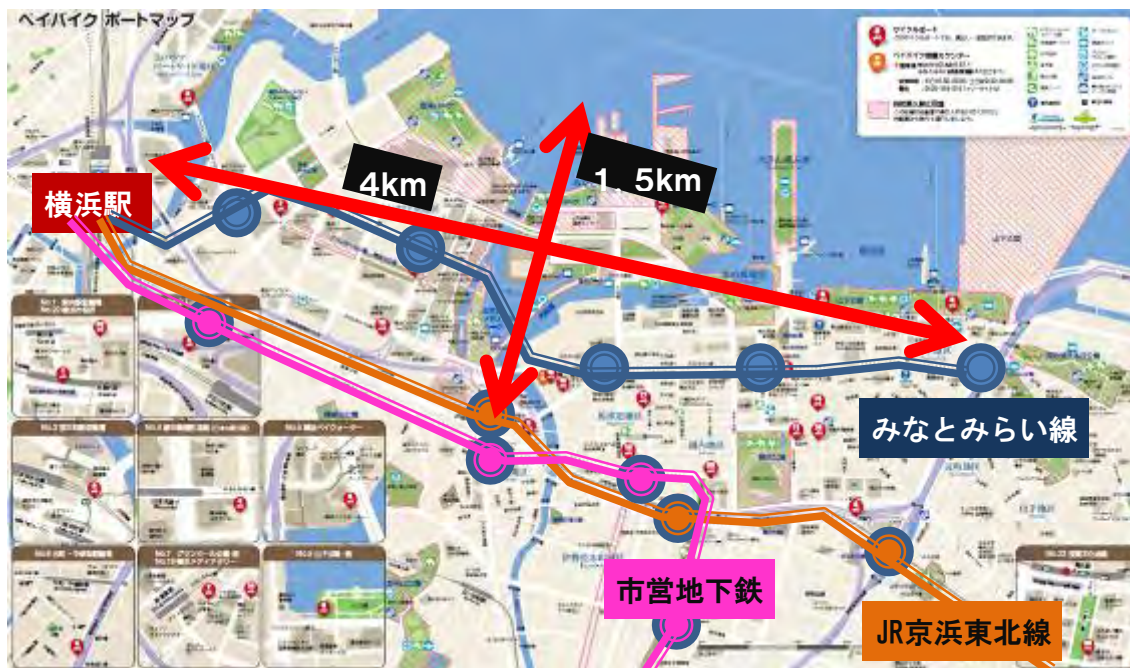
横浜都心部におけるコミュニティサイクルの取組

1. 横浜都心部の概要

(1) 横浜都心部の概要



(2) 横浜都心部における鉄道の概況



(3) 横浜都心部における駐輪状況

駐輪場利用台数：計 約 5,000 台 (H22)

放置自転車台数：計 約 5,000 台 (H22)

2. コミュニティサイクルに関する社会実験

(1) これまでの社会実験

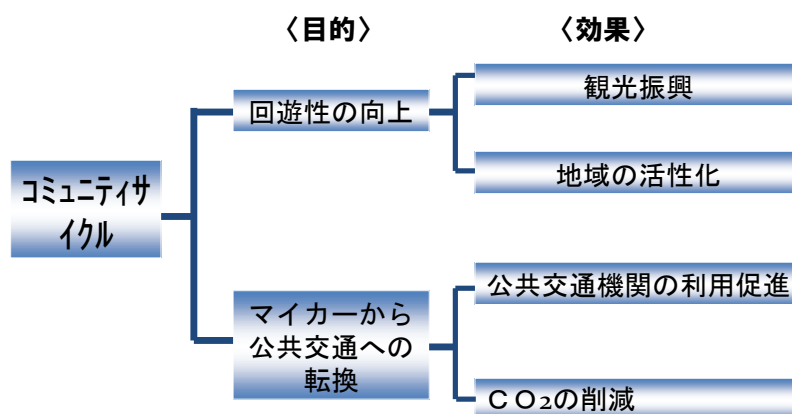
- 平成13年度 パーク&サイクル社会実験
- 平成16年度 レンタサイクル社会実験
- 平成21年度 コミュニティサイクル社会実験（1か月間）
- 平成23～25年度 コミュニティサイクル長期社会実験（3年間） 実施中

(2) 実施中の社会実験（H23～25年度）の概要

ア 概要

- 期間：平成23年4月25日～平成26年3月31日
- 地域：みなとみらい地区、関内地区を基本
- 規模：自転車300台、貸出・返却拠点 33箇所（平成25年4月5日現在）
- 体制：（実施主体）横浜市 都市整備局
（運営主体）株式会社NTTドコモ

イ 目的と期待される効果



ウ 役割分担

実施主体と運営主体で協定書を締結し役割を分担している。

- 実施主体：横浜市の役割
 - ・ 社会実験の統括
 - ・ 実験実施に必要なサイクルポート候補地を確保
 - ・ コミュニティサイクル推進のための広報
 - ・ 効果検証や調査 など
- 運営主体：株式会社NTTドコモの役割
 - ・ 施設整備及び運営（サイクルポート設備や自転車等の設置、管理）
 - ・ 規模拡大のためのサイクルポート用地の確保
 - ・ 採算性向上のため、付帯する事業を実施できる
（コミュニティサイクルの料金収入および付帯事業収入は運営主体の収入となる）

エ ポート



ポートサイズ（7台）：約5m×1.6m
 （1か所あたり駐輪機器 5～28台）



オ ポート設置箇所

- ・横浜市が確保（24箇所）

	分類	箇所数
公共用地	駐輪場	4
	公園	3
	道路	1
	その他公共用地	9
民有地		7
合計		24

- ・NTTドコモが確保（9箇所）民有地

カ 料金・時間

- 料金
- 登録料金 無料
- 利用料金

	基本料	利用料	予約
月額会員 プレミアム	1,575 円/月	最初の 60 分 0 円 超過 30 分毎 105 円	ご利用の 30 分前 から予約可
月額会員	1,050 円/月		—
1 日会員	525 円/日		—
1 回利用	105 円/回		—

- 時間 7:00~21:30

キ 交通機関との連携

- みなとみらい線沿線マップ（駅置き）に コミュニティサイクルのポートを記載



- suica、pasmo 等の交通系 IC カードを会員証として使用可能

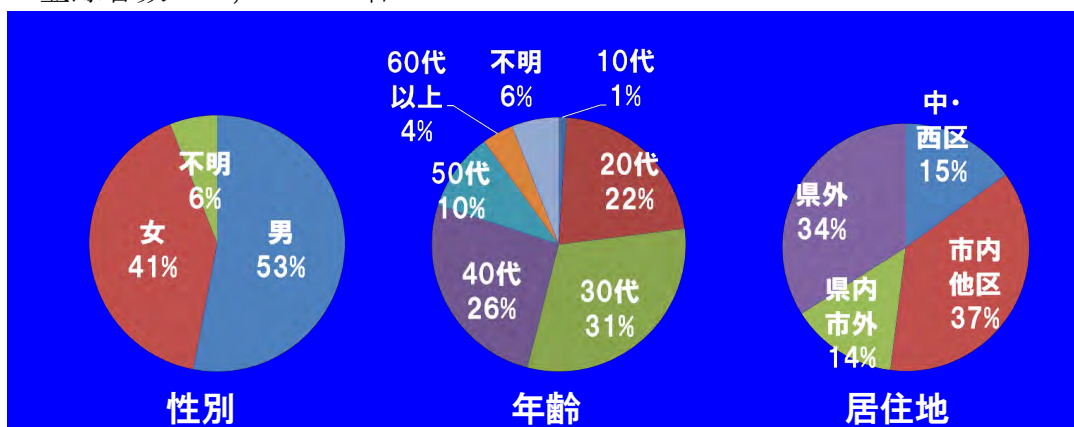
3 利用状況・アンケート調査等の結果

(1) 登録者数・利用回数の推移



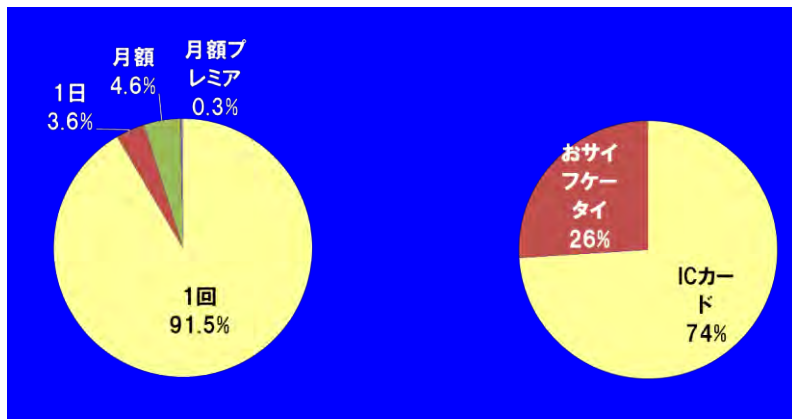
(2) 登録者の属性 (H23. 4~H24. 9)

・登録者数 9, 074名



男性、20～40代（8割）、市内居住者（5割超）が多い。

・契約形態



(3) 利用状況

ア 平日 (H24. 1~9 利用回数の多い移動)



横浜・新高島駅周辺とみなとみらい地区や関内駅と海側の移動が多い